

## 島根原子力発電所3号機の人エリーフ併用防波護岸での藻場造成により創出した「Jブルークレジット」の活用について

当社は、島根原子力発電所3号機（所在地：島根県松江市）の人エリーフ（浅瀬）で形成された藻場によるCO<sub>2</sub>吸収量をJブルークレジット\*<sup>1</sup>として取得しています。  
(2023年2月10日お知らせ済み)

このたび、島根県松江市内での以下の取り組みにおいて、本クレジット合計4.6tが活用されることとなりましたのでお知らせします。

### <島根原子力発電所3号機の人エリーフ併用防波護岸での藻場造成>



図1. 島根原子力発電所3号機北側人エリーフ鳥瞰図

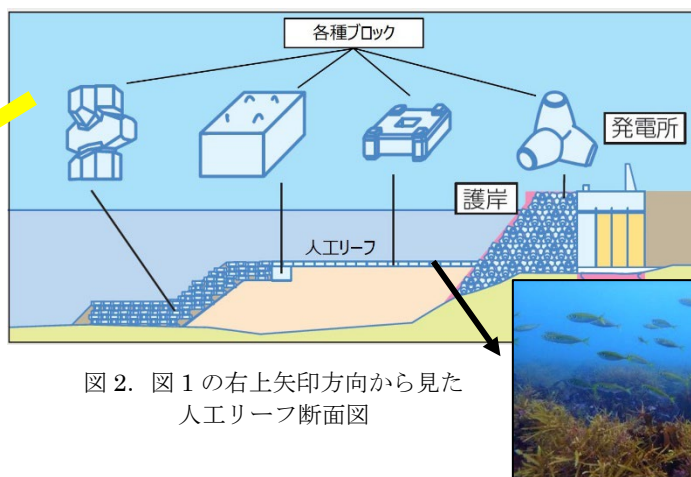


図2. 図1の右上矢印方向から見た人エリーフ断面図

### <Jブルークレジットの活用事例>

#### 1. 旅行の移動で排出されるCO<sub>2</sub>の削減

株式会社日本旅行（本社：東京都中央区、代表取締役社長：小谷野 悦光）が販売する個人向け旅行ツアー（松江・玉造温泉）において、公共交通機関での移動に伴い排出されるCO<sub>2</sub>（2.6t）を、Jブルークレジットを活用することで実質ゼロ（相殺）にします。

なお、松江市は、環境省が募集した「第3回脱炭素先行地域」に選定されており、当社も共同提案者として参画しています。本取り組みは、共同提案者で構成された「松江市脱炭素先行地域推進協議会カーボンニュートラル観光タスクフォース\*<sup>2</sup>」と一般社団法人 海と日本プロジェクト in しまねが、持続可能な観光の実現を図る取り組みの一環として実施するものです。

## 2. バスケットボール試合会場での電力使用で排出されるCO<sub>2</sub>の削減

株式会社バンダイナムコホールディングス（本社：東京都港区、代表取締役社長：川口 勝）が、本年12月30日（土）に松江市総合体育館で開催する島根スサノオマジックのホームゲーム（対大阪エヴェッサ戦）において、会場の電力使用で排出されるCO<sub>2</sub>（2t）を、Jブルークレジットを活用することで実質ゼロ（相殺）にします。

本取り組みは、バンダイナムコグループが推進するサステナブル活動の一環として実施されるものです。

当社は、中国地域を基盤とする事業者として、引き続き、エネルギーの脱炭素化を進めるとともに、地域の皆さまと相互に協力し、カーボンニュートラルへの挑戦を通じて地域の発展に貢献してまいります。

- ※1 ジャパンブルーエコノミー技術研究組合（以下「JBE」）が創設した制度で、JBEから独立した第三者委員会による審査・意見を経て、JBEが認証・発行・管理する独自のクレジット
- ※2 脱炭素先行地域の事業を推進するため共同提案者により立ち上げられた「脱炭素先行地域推進協議会」のうち、テーマごとに設置されたタスクフォース  
構成者：松江市、（一社）松江観光協会、西日本旅客鉄道（株）、（株）日本旅行、当社

【参考】[株式会社日本旅行HP ニュースリリース](#)

[島根スサノオマジックHP 試合情報](#)

以 上